

ジュニア科学クラブ 10



月のはなし

月は私たちに一番身近な天体であり、昔から人々は月をながめてきました。月は三日月から半月、満月と、毎日形を変えていきます。それは、月が太陽の光を反射してかがやいており、私たちの地球の周りを回っているからです。さらに月の表面にはよく見ると黒い模様があります。この月の模様は、いつ見ても同じです。つまり月は、いつでも同じ面を地球に向けているのです。月の裏側の模様は、探査機が飛んで行って調べるまで分かりませんでした。



秋は空のお月さんがいちだんときれいに見えます。お月見の時期は少し過ぎてしまいましたが、今月は月のはなしをしましょう。

えごしわたる(科学館学芸員)

〈10月のクラブ〉

10月25日(土)9:45～11:30ころ

- ◆集 合：プラネタリウムホール(地下1階)
9:30～9:45の間に来てください
- ◆もちもの：会員手帳・月刊うちゅう・えんぴつ
- ◆内 容：9:45～10:30 プラネタリウム
10:30～11:30
(5年生) 実験教室(紙の橋)
(6年生) 展示場・サイエンスショー見学
・プラネタリウムホールには途中から入れません。ちこくしないように来てください。
・展示場・サイエンスショー見学は自由解散です。実験教室の内容は9月号をごらんください。

このページはジュニア科学クラブ(小学校5・6年生を対象とした会員制)のページです。